

第6節 プラットフォームの動向

1 市場動向

ICT関連市場における主要プレイヤーを時価総額に基づいて整理すると、2025年に引き続き2026年も米国GAFAMが上位となっているが、上位5社の順位は変動している。1位のNVIDIAや昨年15位までに入っていなかったSamsung Electronics、ASML、Micron Technologyなどハード・半導体関連企業の順位が上がり、株式市場での評価を向上させている。(図表Ⅱ-1-6-1)。

図表Ⅱ-1-6-1 世界のICT市場における時価総額上位15社の変遷

2025年

	社名	主な業態	国・地域	時価総額(億ドル)
1	Apple	ハード、ソフト、サービス	米国	33,610
2	NVIDIA	半導体	米国	29,450
3	Microsoft	クラウドサービス	米国	29,380
4	Amazon.com	クラウドサービス、eコマース	米国	21,800
5	Alphabet/Google	検索エンジン	米国	20,790
6	Meta Platforms/Facebook	SNS	米国	15,870
7	Broadcom	ハード、半導体	米国	8,850
8	Taiwan Semiconductor Manufacturing	半導体	台湾	7,760
9	Visa	決済	米国	6,730
10	Tencent	SNS	中国	5,860
11	Mastercard	決済	米国	4,970
12	Oracle	クラウドサービス	米国	4,320
13	Netflix	メディア	米国	4,270
14	SAP	ソフト	ドイツ	3,270
15	Alibaba	eコマース	中国	3,150

➡

2026年

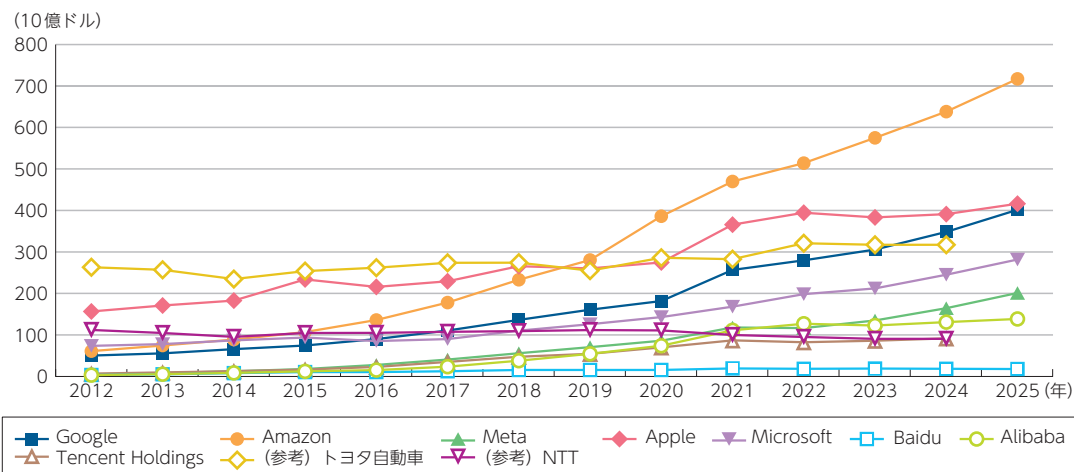
	社名	主な業態	国・地域	時価総額(億ドル)	
↑	1	NVIDIA	半導体	米国	43,420
↓	2	Apple	ハード、ソフト、サービス	米国	37,090
↑	3	Alphabet/Google	検索エンジン	米国	35,190
↓	4	Microsoft	クラウドサービス	米国	27,550
↓	5	Amazon.com	クラウドサービス、eコマース	米国	22,730
↑	6	Broadcom	ハード、半導体	米国	15,090
↓	7	Meta Platforms/Facebook	SNS	米国	15,050
	8	Taiwan Semiconductor Manufacturing	半導体	台湾	14,970
new	9	Samsung Electronics	ハード	韓国	8,370
	10	Tencent	SNS	中国	5,840
↓	11	Visa	決済	米国	5,810
new	12	ASML	半導体	オランダ	5,410
↓	13	Mastercard	決済	米国	4,480
new	14	Micron Technology	半導体	米国	4,310
↓	15	Oracle	クラウドサービス	米国	4,200

(出典) Wright Investors' Service, Incより取得(2025年は2025年3月27日時点、2026年は2026年3月27日時点)*1

世界を代表する米中の主なプラットフォーム事業者の売上高の推移をみると、多くの企業は引き続き売上高が拡大しているものの、AppleやAlibaba、Baiduは伸び悩みがみられる(図表Ⅱ-1-6-2)。

*1 <https://www.corporateinformation.com/Top%02100.aspx?topcase=b#/tophundred>

図表Ⅱ-1-6-2 米中のプラットフォーム事業者の売上高の推移



※ 日本企業、中国企業については、各年の平均レートを用いてドルに変換している。また、日本企業については年度の決算値を用いている。

(出典) Statista データ、各社決算情報を基に作成

2 主要なプラットフォーム事業者の動向

米中の主要なプラットフォーム事業者は、それぞれの強みを活かし、生成AIを活用したサービスの強化を図っている。特に生成AIに関する開発については、複数のプラットフォーム事業者が力を入れており、今後様々な場面で生成AIが活用されることが見込まれる（図表Ⅱ-1-6-3）。

図表Ⅱ-1-6-3 米中の主要なプラットフォーム事業者の動向

<米国>

主要分野	企業	事業概括・領域	新たに注力している分野・ビジネス
広告・検索	Alphabet (Google)	世界最大の検索エンジンサービスを提供しており、検索広告を中心にクラウド、端末など巨大な経済圏を展開	生成AIを活用した検索エンジンサービスの強化を図っているとともに、生成AI基盤の強化をクラウドサービスの進化につなげている。
電子商取引	Amazon	世界最大級のeコマース事業者で、クラウドサービス(AWS)を中心に巨大な経済圏を展開	AWSでの生成AI関連サービスの強化を図る他、AIとロボットを活用した物流・配送ネットワークの効率化にも注力している。
SNS・アプリ	Meta (Facebook)	世界最大級のSNSサービスを提供しており、2021年に社名をメタ・プラットフォームズに変更し、メタパースやXR事業への取組を推進	生成AIの言語モデル「Llama」を活用した広告事業の高度化に注力するとともに、現実空間とAIを融合するAIグラスの開発・展開にも注力している。
通信機器・端末	Apple	世界最大のネット・デジタル家電の製造小売であり、iPhoneなどの端末を核とした巨大な経済圏を展開	iPhoneを中心とした端末・デバイスにオンデバイスAIである「Apple Intelligence」を搭載することによって自社が強みを持つ端末・デバイスを更に強化している。
端末・クラウド	Microsoft	世界最大級のソフトウェアベンダーであり、WindowsやOfficeなどのソフトウェアやクラウドサービスを中心に巨大な経済圏を展開	WindowsやOffice製品に生成AIモデルを搭載し、利便性の向上を進めるとともに、AIチップの独自開発などAIインフラにおける対外依存を下げる取り組みも進めている。

<中国>

主要分野	企業	事業概括・領域	新たに注力している分野・ビジネス
広告・検索	Baidu	中国最大の検索エンジン事業者で、検索サービスで得られた豊富なデータでAIの技術開発を進め、様々な業界との連携に注力し、自動運転にも事業展開	自社開発したLLM「文心」をリリースして以来、AI領域に数百億円を投資し、同LLMをベースとしたノーコードAI開発ツール等各種AIサービスを提供している。
電子商取引	Alibaba	世界最大の流通総額を持つeコマース事業者で、データテクノロジーを駆使し、マーケティングから物流、決済に至るまでのサービスを提供し、クラウドにも展開	AI駆動事業戦略を推進し、「AIモデル、クラウド、AIチップ」のフルスタックのAIケータビリティの構築に注力している。
SNS・アプリ	Tencent	中国最大のSNSアプリプラットフォームで、「WeChat」を基盤に決済、ゲーム等を提供し、巨大のデジタルエコシステムを構築	2026年に自社SNSから利用可能なAIエージェントサービス「QClaw」をリリースし、また、ゲームにAI機能を搭載するなど、コア事業へのAI統合に注力している。
通信機器・端末	Huawei	世界的な通信機器ベンダーで、ICTインフラ、デバイス、クラウドサービス、デジタルエネルギー、自動車ソリューションなどの事業を展開	2025年に大規模計算処理実行可能な装置であるSuperPoD製品やAIチップを含むAIコンピューティング製品群を発表し、AIインフラエコシステムを拡張している。

(出典) 各社公表資料を基に作成

関連データ 米中の主要プラットフォームの事業別売上高

出典：各社決算発表資料を基に作成

URL：<https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r08/html/datashu.html#f00223>（データ集）

